

日伯政府間21世紀協議会 ブラジル側議長  
(元鉱山エネルギー大臣、元リオドセ社長)

Eliezer Batista



リオデジャネイロ日本商工会議所の創立50周年、誠にお目出とうございます。

私も、ブラジルの宝である金属資源の分野を中心に、地球の裏側にある遠くて近い国‘日本’とかかわりあって、半世紀以上が過ぎました。

この間、両国の事情も様々な変遷を経て、喜怒哀楽、多様な出来事が歴史に刻まれました。

リオの地に居りまして、私は、それらのあらゆる場面で、戦後復興を見事に果たした日本の方々の勤勉さと、高い技術力・チャレンジ精神と暖かい心のあり方を常にかけて感じて来ました。それは、当地に生活される日系の皆様にも大いに通じるものがあり、改めて、心より敬服するものであります。

貴商工会議所は、当地での日本企業の先兵として、50年もの長きに亘り、経済・文化の両面で日伯相互の関係深化に真剣に取り組んで来られた訳ですが、私も、皆様同様、21世紀を迎える気構えとして、両国関係が、政治・経済及び文化面において、再び、新たな創造・チャレンジの世紀を迎えたことを、ひしと感じている一人であります。

今年5月のルーラ大統領による小泉首相訪問の際、日伯政府間において、今後の両国関係を更に強固なものにし、交流を深化させることを目指し、21世紀協議会が創生され、私がブラジル側の議長を仰せつかりました。

教育・科学技術などの面でも、日本からまだ多くのことを、この国は学ばねばなりません。80歳を廻り、大役ではありますが、両国発展のため、喜んで一石を投じる覚悟です。皆様と共に、是非、両国の更なる発展・向上に寄与しようではありませんか。

最後に、貴商工会議所の活動、及びそのメンバー各位および日系社会の皆様の当地でのご活躍とご健勝を心より祈念し、私の50周年に向けたお祝いメッセージとさせていただきます。